**今月の表紙**

　9月10日、11日に、岩出山地域で「第59回政宗公まつり」が開催されました。

　11日の本まつりでは、3年ぶりに伊達武者行列が復活しました。伊達武者行列は、430年前に政宗公が3,000人の兵を率いて岩出山を出発し、上洛した様子を再現しています。きらびやかに装った騎馬武者隊や甲冑武者隊など、総勢約600人が練り歩く姿に、沿道から大きな拍手が送られていました。

写真 愛姫・ちびっこ愛姫（上）、稲葉先陣大名行列保存会（左）、伊達武者行列の先陣（右）

**広報おおさき10月号　2022　No.199**

**Main Contents　目次**

04 新型コロナウイルスワクチン接種情報

05 職員の人数・給与などの状況

06 令和5年4月1日から入所・入園する児童を募集します

09 OSAKI Culture

10 オオサキプレイガイド

13 内水ハザードマップを作成しました

都市計画道路並柳福浦線整備事業の拡幅工事を進めています

14 くらしの情報

骨髄移植などで免疫を失われた人への定期予防接種再接種費用の一部を助成します ほか

24 子育て支援情報　ほか

26 相談コーナー

27 休日救急当番医　ほか

28 大崎市平和体験事業

長崎で平和について学びました

**交通規制（田尻地域）します**

問い合わせ 田尻中学校（宮城県中学校駅伝競走大会事務局）電話39-0043

宮城県中学校駅伝競走大会の開催に伴い、安全対策のため、コースとなっている道路が全面交通規制となります。交通安全対策に協力願います。

詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。

日時　10月5日（水曜日）　9時30分～14時

※10月6日（木曜日）は、予備日です。

場所　田尻中学校周辺（田尻沼部字早稲田付近）

**みんなでエコっぺ！**

**～やってみよう「エコ活」～**

問い合わせ　環境保全課環境保全担当 電話23-6074

**Vol.3 ～見直そう「プラスチックごみ」～**

　プラスチックごみは自然分解されないため、不法投棄すると半永久的に残ってしまい、ウミガメやクジラが飲み込んで死んでしまうなど、生態系にも影響を及ぼしています。大崎市の資源回収では、ペットボトルは繊維に加工されて衣服や新たなペットボトルとして生まれ変わります。また、プラスチック製容器包装ごみは、車止め、樹木に似せた建築資材などに加工されたり、工業用燃料などとなります。

　プラスチックごみは、リサイクルをして社会に還元することで、持続可能な資源となります。きちんと分別して捨てることを心がけ、皆さんも捨て方を見直してみませんか。

**パタ崎さんの食育コラム**

その17　　大崎耕土の食文化「岩出山　凍り豆腐」

問い合わせ 世界農業遺産推進課企画調整担当 電話23-2281

岩出山凍り豆腐は、岩出山地域を代表する冬の味覚で、弾力がある歯触りと滑らかな舌触りが特徴なんだよ。

　にがりと宮城県産の大豆のみを使用した、添加物を使わない昔ながらの製法で生産している伝統的な食材なんだ。

　厳しい寒さの中、豆腐を2回凍らせるのが特徴で、これにより雑味が取り除かれ、本来の味が際立ち、さらに自然乾燥による天日干しで、独特の香りになるんだよ。

　現在は、岩出山地域の生産者により、年間10万袋（1袋20枚入り）が生産されているんだって。

　地域では、郷土料理をはじめ、おでんや鍋の具材として重宝されるほか、特に正月の雑煮には欠かせない食材として利用されているんだ。

　道の駅などの直売所で販売されているので、チェックしてみてね。

**オオサキワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館**

Vol.30　世界農業遺産「大崎耕土」認定5周年の「美味しいイベント」を開催します！

問い合わせ 世界農業遺産推進課自然共生推進担当 電話23-2281

　今年は、大崎地域が世界農業遺産に認定されてから5周年を迎える記念の年です。大崎地域世界農業遺産推進協議会では、11月開催の5周年記念フォーラムに向けてイベントを多数企画しています。

　10月1日（土曜日）から10月31日（月曜日）にかけて、仙台市勾当台公園のレストラン「 」で、大崎地域(大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)の食材をふんだんに使ったメニューを提供するイベント「大崎耕土フェア」が開催されます。地元の野菜や加工品が、おしゃれでおいしいイタリアンに大変身！普段と違う味わいを楽しめます。

　また、10月20日（木曜日）・21日（金曜日）には、仙台ガーデンパレスホテルで、認定5周年を記念した「大崎耕土出張マルシェ」が開催されます。仙台市内へ出かける際は、ぜひ立ち寄りください。

**市長コラム　天地人**

陸羽東線が危うい

今年は、宮城県誕生から150周年。野球伝来から150周年。鉄道開業から150周年です。

その記念すべき年に、仙台育英学園高等学校が日本野球の象徴である甲子園大会で、初優勝。深紅の大優勝旗が初めて白河の関を越え、本県にもたらされました。

満塁ホームランで、優勝を決定づけた、地元出身の岩崎生弥選手の活躍をはじめ、悲願を果たしてくれた仙台育英学園高等学校ナインに心から感謝と祝意を表します。

仙台育英学園高等学校の快挙は、東北としての歴史的一体感が再構築された慶賀であり、東北新時代創造へのキックオフとなることでしょう。

一方で、東北開発の大きな牽引力を果たしてきた地方鉄道が、開業150周年の年に存続の危機に直面しております。

この夏、国土交通省は、地方鉄道の再構築に向けた提言をまとめ、ＪＲ東日本は利用者の少ない地方路線の収支を初めて公表しました。

陸羽東線も赤字路線として公表されましたことは、地元としても大きな衝撃であります。

陸羽東線は１９１３年（大正２年）に開業し、今年で109年を迎え、市民生活を支える大切な公共交通機関であります。

また、「奥の細道湯けむりライン」の愛称で観光路線としても大きなポテンシャルを有する路線でもあります。

さらに、当地方には、古川馬車鉄道、松山人車軌道、仙台鉄道（仙台市にあった通町駅と西古川駅を結んでいた軽便鉄道）など、鉄道開発に心血を注いできた先人からのＤＮＡがあります。

この秋、陸羽東線とまちづくりを考える検討会議を設立いたしますので、市民皆様のご意見、ご提言をお待ちしております。